

平成31年度第1回スポーツ振興事業助成審査委員会議事要旨

- 1 日 時 平成31年4月8日(月) 15:00～16:00
2 場 所 独立行政法人日本スポーツ振興センター 大会議室1・2
3 出席者 [審査委員]

川西委員長、藤田第一部会長、友添第二部会長、赤羽委員、伊藤委員、杉田委員、鈴木委員、田口委員、竹田委員、田中委員、鳥原委員、服部委員、平野委員、藤丸委員、松永委員、三ヶ田委員

[独立行政法人日本スポーツ振興センター]

大東理事長、今泉理事、堀江スポーツ振興事業部長、鴨井支援企画課長、岩谷支援第二課長

4 議 事

■平成31年度スポーツ振興事業助成金の配分(案)について

資料1及び資料2に基づき、事務局から説明を行った。

本配分(案)について、原案どおり承認された。

なお、今後、修正等が生じた場合は、その取扱いについて委員長及び関係部会長に一任され、とり進めていくことが確認された。

■平成31年度スポーツ振興くじ助成事業の二次募集(案)について

資料3に基づき、事務局から説明を行った。

<質疑応答>

(○:審査委員 △:JSC)

○ 二次募集の財源として、平成30年度の執行残額等を充てるということであったが、財源が厳しくなるという中で、申請規模に対応できるのか。

△ 例年の二次募集と同程度の申請規模であれば、平成30年度の執行残額等に対応できる見込みである。

なお、仮に、平成31年度の売上状況が平成30年度と同規模となった場合には、令和2年度の二次募集を行わないことも含めて、対応を検討しなければならないと考えている。

二次募集(案)について、原案どおり承認された。

なお、今後、募集内容等に変更が生じた場合は、その取扱いについて委員長及び関係部会長に一任され、とり進めていくことが確認された。

■スポーツ振興くじ助成対象事業の新設(案)について

一般社団法人大学スポーツ協会を対象とした助成対象事業の新設について、事務局から説明を行った。

今後、具体的な助成制度の詳細等について検討を行い、10月に開催予定の助成審査委員会において審議することで承認された。

■その他

(○：審査委員 △：JSC)

- 申請額が増加しているにもかかわらず、助成財源は減少しているため、今後は、審査基準を厳しくするなど、助成財源等を念頭に置いた見直しが必要ではないか。
- △ 令和2年度の助成財源が不足することが見込まれる場合には、募集時に、申請件数や金額に一定の制限を設けることなども含めて、対応を検討してまいりたい。

以上